

ワイヤレスブロードバンド実現のための周波数検討WG議論メモ

有益な周波数検討の為に

2010年5月14日
野村総合研究所・京都大学連携ユニット
横澤 誠

「周波数」とは、社会にとって何なのか？

- ・ Radio(情報を「放射」するもの) → 放送
- ・ Wireless(無線) → 通信
- ・ Air(空気のような自由) → 人間／文化／地域を支える

見えない電波だからこそ、「見える」ように

- ・ 見えにくいので行政によるコントロールが必要だが・・・
- ・ 逆に言うと見えるようにできれば、少し違うガバナンスも？
- ・ What(目先のバンド割当方針)も大事だが、それ以上にHow(どのようにコントロールしていくのか)

IOT, Internet of Things は周波数利用から

- ・ 利用の視点は常に大事
- ・ 周波数利用する「一階上」の技術とは？そして最上階に居る「利用者」は？
- ・ 地域／生活とともに、産業育成、国際的視点も大事
- ・ 日本の強みから日本の役割を導き出す

周波数利用の今後の展開 (利用技術はどう変わっていくか～5年ごとの展開イメージで議論が必要)

電波利用に関連する技術動向



「光」は電(磁)波としての性質を持つー光の道を支える

短期的に結論が求められる課題

- ・ 携帯電話用周波数
- ・ 移行、再編
- ・ 新サービス、新ビジネスの育成

技術の進展に伴い決断が求められる中期的課題

- ・ 周波数のガバナンスの哲学
- ・ 電波利用融合産業の展開
- ・ 「Wireless to Wireless サービス」、「電波クラウド」、地域利用
- ・ 研究開発、標準化
- ・ 人材育成、利用文化育成

社会、生活、産業を変える長期的イノベーションの課題

- ・ 国民生活への浸透
- ・ 新たな利用文化の醸成
- ・ セキュリティ／プライバシー、安心安全／回復性／信頼
- ・ 電波利用が支える日本の地域、産業、生活